

4月号

香春町協力隊だより



▲色はとても奥深く、面白いので、最近もう一度配色についての勉強を始めました。

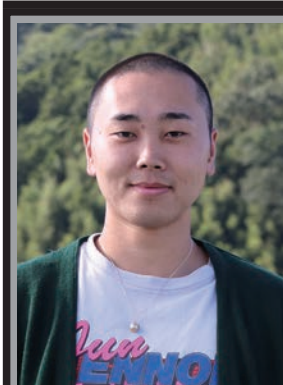
最近デザインアドバイザーというお仕事をいただいています。社長さんや店長さんなどが作ったチラシやDM、ホームページのデザインを「より良く改良するためのアドバイス」が主なお仕事です。

見やすく整理整頓することや目に止まるデザイン、商品を魅力的に見せるコツなど、感覚的な部分でも、実は全てルールがあります。それをわかりやすく伝えるのは難しくもありませんが、目に見えて格段に良くなったデザインに、相談者の皆さん、とても喜んでくださいます。将来的には、香春町でもデザイン相談会をやりたいなと思っております！



ものづくり担当

鎮西町区
村上夕子隊員



ナリワイづくり担当

下高野1区
小野沢春輝隊員



▲九州伝統野菜の山苺菜^{やましおな}を育ててみました！

ナリワイづくりの一環として「小高い×マルシェ」をテーマにした「The Market」を香春町から発信していこうと、毎月開催を計画をしていきましたが、コロナウイルスの影響を考慮し、2月と3月の開催は見送ることに。ニュースを見ていると不安が募りますが、バランス良く自分のペースで生活していく事の大切さを感じた1ヶ月でした。

畑に行つて草を刈つて種をまくなど、少しでも地に足がついた事を実感できる瞬間を楽しんでいきたいと思えます。畑ではソラマメが順調に育ち、冬に育てた大根や白菜は菜花を咲かせて種の準備をしています！



▲屋号「yukuta」で活動します。

小野沢隊員が運営するマルシェ「The Market」など、お祭りやイベントで飲食の出店ができる仮設営業許可を取得しました。今後香春町でのイベントなどで出店でできる場所を探していきます。出店募集など、ぜひ声をかけください。

お店では野菜メインのスパイスカレーを中心に、イベントに応じて色々試みてみようと思えます。仮設営業許可の申請についても相談に乗ることができるので、気軽に駅舎に聞きに来てください。香春町のマルシェも今回のコロナ騒動が収まり次第再開予定とのこと。こちらもどうぞお楽しみに。



半農半X担当

下高野1区
小玉篤美隊員



半農半X担当

採銅所4区
三村信也隊員



▲習性で毎回もみ殻を敷いた産卵箱に産卵する鶏たち。

自分のできる範囲で食料の自給の幅を広げています。有機無農薬野菜づくりに加えて、今年からは、合鴨農法での有機米づくりを始めます。

そして先月、ついに卵の自給生活が始まりました！一番大きく育った鶏が大体毎日ひとつ産んでくれていています。他の鶏も同じようにもうすぐ産み始めてくれそうです。

また、先日ニホンミツバチの巣箱を畑に設置。キンリョウヘンという蘭をミツバチを誘引するために巣箱の横に置き、女王バチを筆頭にミツバチの群れが巣箱に入ってくれるよう様子を見ています。ニホンミツバチは生息数が激減しているため、大事に見守っていききたいと思えます。



フェイスブックでも私たちの活動や香春町の情報を発信中！
「いいね」や協力隊目線の情報を読んでみてください。
スマートフォンで左横のQRコードからチェック！

制作・編集 / 香春町役場まちづくり課
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408
採銅所駅舎内第二待合室 ☎ 32-3115

協力隊
その後

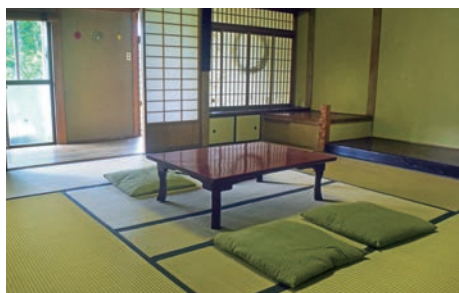
1

香春町を丸ごと体験できる民泊を開業！

協力隊時代の経験と人の繋がりを大切に 香春町に住み続ける村井勇輝さん



- 1 体験型民泊村井屋の玄関前に立つ村井勇輝さん。
- 2 四季折々に様々な花が咲く庭。宿泊者はBBQや日向ぼっこを楽しむことも。
- 3 気持ちの良い朝日が差し込む幅の広い縁側。ここで飲む朝のコーヒーは格別です。



体験型民泊 村井屋

☎ (080)3818-4108

香春町大字採銅所 2561-3 (JR採銅所駅から徒歩5分)

HP : <https://www.muraiya.com>   

詳しくは「民泊村井屋」で検索！

2016年4月から香春町地域おこし協力隊となり、大阪府から香春町に移住し、昨年3月で退任しました。

協力隊として活動した3年間、様々な経験や多くの人との繋がりを得られたことで、退任後も様々なお仕事をもらいながら、香春町民として採銅所の矢山地区に住み続けています。

退任後、香春町移住コーディネーターとして採銅所駅での移住相談対応、協力隊のころから行っていた「香春町トライアルステイ」という移住体験プログラムの企画運営、受入を行っております。また、今後も香春町に住み続けるため、矢山地区の自宅でも民泊を開業。「体験型民泊 村井屋」として、香春町の地域性や自然を生かした体験を取り入れた、宿泊プランを提供しています。

現在は登山や竹工芸、染色の体験プランですが、今後農業やタケノコ、干し柿などの香春町の特徴を生かしたプランを提供していく予定です。

田川市郡の中で民泊登録したのは、私の村井屋が第1号でした。多くの人が香春町に来るきっかけになり、体験内容を地域の事業者と協力して行うことで、地域にお金が回るような仕組みを作っていければと考えています。

そのほかに、野外イベントの企画運営やスタッフ、竹スปีカーや竹楽器販売、農業、自分で作った野菜を使用した屋台でのスープ屋さんなども、仕事として行っています。

縁があって4年前から住みだした香春町に、今後も長く住んでいけるよう、色々な仕事をしながら生活できるように頑張っています。



香春町の移住情報サイト「カワラXカケル」

移住してきた人々の想いや町の皆さんの声などを掲載しています。

詳しくは左のQRコードや、「カワラカケル」で検索してください。

カワラ X カケル
香春町 X
KAWARAKAKERU

5月号

香春町協力隊だより



▲無事に撮影を終え、演者の皆さんと記念撮影

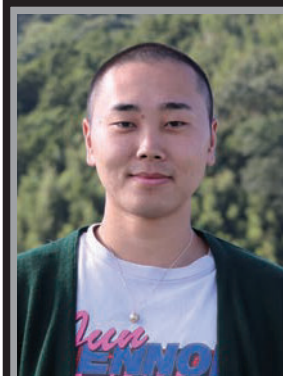
4月4日20時の放送で、ご覧になった人も多いかもしれませんが、TVQの人気番組「ちよつと福岡行ってきました」が香春町にやってきました！サイコロを振って行き先を決める番組なので、突然の来訪にびっくりしました。来てくださったのは、「コント赤信号」リーダーの渡辺正行さんと、「渡る世間は鬼ばかり」でおなじみの藤田朋子さんです。ちょうど駅舎では「情報座談会」を開催していて、県内の様々な地域から地域おこし協力隊の皆さんが来てくれていたので、かなり賑やかに迎えすることができました！

その後は私、村上の家に移動して「香春町産柿渋染体験」をしてもらいました。そしてそれが見事「感動体験」に認定していただき、よかったです！



もろへつこ担当

鎮西町区
村上夕子隊員



ナリワイづくり担当

下高野1区
小野沢春輝隊員

えませんが、今できることをポジティブに捉えて、活動していきたくです。



▲貰ったタケノコで作った煮物

新年度を迎え、心機一転新しい気持ちで頑張ろうとしていましたが、コロナウイルスの影響で、出鼻を挫かれ、思うように活動できずに4月を迎えてしまっております！泣

しかし、外に出て活発に動くことはできませんが、昨年度の振り返りや今年度の計画、今後行なっていく活動の準備など、机の前で考える作業がスムーズにできており、今しかできないことに集中できるキッカケとなっております！

また、緊急事態宣言により不要不急の外出が禁止となり、家において料理をする機会が増え、この間は旬のタケノコで煮物を作りました。頻繁にタケノコ料理を食べることができずごく幸せです！（関東だと高級食材でなかなか食べられません！）

コロナウイルスの終息は未だ見えませんが、



▲ポリジと八重桜を氷に

4月16日で着任して丁度1年が経過しました。昨年は少し時期を逃し、作れなかった八重桜の塩漬けを仕込みながら、『ああ、丁度一年が経ったのだ』と感じています。

周辺の植物の旬がある程度覚えた2年目は、前もって準備に取りかかることが出来ます。コロナの自粛で思い描いていた保存食作りのワークショップや料理教室は見送りとなっていますが、オンラインでの開催を検討したり保存食の商品化に向けて試作を繰り返したり、新しい方向性を模索する時期となっています。

自然栽培の畑も同じく1年を経過しました。去年とは違う雑草が生えてきて、土が変わったことが顕著に見えるのも面白いです。



半農半X担当

下高野1区
小玉篤美隊員



半農半X担当

採銅所4区
三村信也隊員



▲左上、枝の分岐部分に一時的に群れが密集している様子

4月に入り、二ホンミツバチの分蜂(母の女王バチや姉の女王バチが、働きバチの一群と新たな巣を求めて旅立つこと)が始まっています。そして今回、分蜂の現場に初めて立ち会い二ホンミツバチの面白さに触れました！

巣箱や飼育の様子見学で飼育実践者のお宅を訪問した際、幸運にもちよつと分蜂の現場に遭遇。辺り一面をミツバチが縦横無尽に飛び回っている様子は圧巻で、その数分後には何千匹もの一群が団子状になり柿の木に留まっていました。

最近二ホンミツバチを見る機会が減りました。果樹や野菜の受粉に必要不可欠なミツバチは気候変動や農薬などの複合的な影響で激減しているの、身近に見守ってほしいと思います。



フェイスブックでも私たちの活動や香春町の情報を発信中！
「いいね」や協力隊目線の情報を読んでみてください。
スマートフォンで左横のQRコードからチェック！

制作・編集 / 香春町役場まちづくり課
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408
採銅所駅舎内第二待合室 ☎ 32-3115

協力隊
その後

2

香春町で空き家に特化した不動産屋を開業！
協力隊時代に経験したことをなりわいにして

香春町に住み続ける手島順也さん



1



2



3

- 1 普段は香春町内を飛び回っています。空き家のご相談があればお電話ください。
- 2 空き家相談会も実施。
- 3 漆喰ぬりワークショップなどで空き家再生を身近に感じてもらいます。



手島不動産

手島不動産

香春町大字中津原 1361 - 1

TEL/FAX (050) 8880 - 1874

E-mail : juantechinga@gmail.com

ブログ : <https://kawara.site/>

空き家の相談はお気軽にご連絡ください！

2016年4月から香春町地域おこし協力隊となり、大阪府から香春町に移住し、昨年3月に退任しました。香春町へ移住してきた4年間で家族が増え、最初は妻と2人で始まった生活も2人の子どもが産まれて賑やかに、今は家族4人で田舎暮らしを満喫しています。

協力隊の仕事では「香春町空き家バンク」を担当し3年間で85人の人々の定住につながりました。任期中に「空き家相談士」や「宅地建物取引士」の資格を取得し昨年からは不動産屋(屋号:手島不動産)も開業。卒業後も香春町移住コーディネーターとして空き家バンクの運営に携わりつつ、頼られる不動産屋になるべく精進しています。

今年度からは福岡県の空き家活用事業にも関わることになりました。今年10月スタートの「空き家活用サポートセンター」の相談員として、協力隊活動で得た知見を制度立ち上げのために生かしています。

空き家問題は複雑で不動産屋だけでなく、各種専門家と行政、地域住民の連携が欠かせません。空き家を活用することで町に新しい移住者が住むことができる！シンプルですが、これからの方針に従って行動していきたいと思っています。

空き家の相談があれば、香春町役場住宅水道課や採銅所駅舎内第二待合室、そして移住コーディネーターの私まで相談ください。

そしてこれからも香春町の一住民としてよろしく願います。

香春町の移住情報サイト「カワラXカケル」

移住してきた人々の想いや町の皆さんの声などを掲載しています。

詳しくは左のQRコードや、「カワラカケル」で検索してください。



カワラ X カケル
香春町 X
KAWARAKAKERU

6月号

香春町協力隊だより



「春香る町」の桜の枝を使って「桜染め」を行いました。桜の枝を小さく粉碎し、水で何度も煮出していきます。桜は最初に黄色い色素から抽出されるので、初段階の染液はベージュっぽい色ですが、何度も煮出すことによって段々と赤色の色素が出てきて「桜色」に染めることができます。とても手間のかかる染めですが、うまくいけば桜の花びらのような優しいピンク色に染まり上がります。今回染めた桜染めハンカチとマスクはインターネット販売していますので、もしご興味あればのぞいてみてくださいー！

◀桜の花びらのように染まったハンカチ

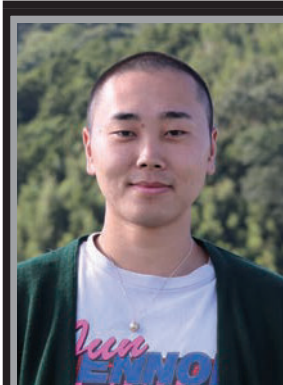


サイト「POT Dye&Design」
<https://pot-dad.stores.jp/>
 ◀コチラからもアクセスできます



もろへんこ担当

鎮西町区
 村上夕子隊員



ナリワイづくり担当

下高野1区
 小野沢春輝隊員



▲この写真の5倍くらいの苗を作ってしまった、完全にできる範囲をオーバーしてしまいました。

コロナ終息後、「地方移住者が増えるのでは？」という予想が様々な分野で言われています。在宅勤務が増え、都会での仕事もネットがあればどこでもできる時代になりつつあり、ライフスタイルを重視したい人が、過ごしやすいい環境を求めて移住してくるというものです。

私達地域おこし協力隊のテーマでもある「半農半X」、自分のできる範囲の農ある暮らしをもっと都市部の人に向けてアピールしていかなければと思います。という訳で、絶賛夏野菜の準備中なのですが、苗を作らずに済ませました。



▲この時期に作る自家製豆板醤は保存食になります。

ソラマメって都会では高級品。焼いたり、塩茹でにしてマヨネーズつけたりしてシンプルに食べる。ソラマメご飯にしたり、炒めたりして色んなおかずに合わせてみるなど色々できます。ただ、少し飽きてきました。こんなのを都会の人が聞いたら、うらやましいってなる気がします。大満足の最後は毎年仕込んでいた『豆板醤』を作りました。ソラマメと麴、韓国唐辛子、塩を合わせて作ります。半年ほど置きますが、このままでも美味しく簡単なのでお試しください。無農薬無肥料の畑の収穫物から保存食作りまで繋がりました！



半農半X担当

柿下区
 小玉篤美隊員



半農半X担当

採銅所4区
 三村信也隊員



▲植え付け時10cm程が、秋には1.5~2mにまで育ちます。

任期2年目に入り、より本格的に農に取り組み始めています。今後はブラックベリー栽培をメインに、ブルーベリーや野菜パイア、いくつかの野菜栽培をサブに少しづつ進めています。また、ちょうど今の時期からは合鴨農法での米づくりに挑戦しています。

さて皆さん、パイアを食べたことはありますか？台湾やフィリピンではよく食べられていて、沖縄や宮崎でも栽培されています。僕自身、フルーツパイアが好物で、昨年プランター栽培を試みましたが越冬させることができませんでした。野菜パイアであれば半年で露地栽培が可能と分かり、再挑戦中です。10月11月ごろに青パイアが豊作であれば、様々な人にレシピ開発をお願いする予定です！



フェイスブックでも私たちの活動や香春町の情報を発信中！
 「いいね」や協力隊目線の情報を読んでみてください。
 スマートフォンで左横のQRコードからチェック！

制作・編集 / 香春町役場まちづくり課
 香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408
 採銅所駅舎内第二待合室 ☎ 32-3115



1



2



3

協力隊
その後

3

協力隊から英語の先生に変身！ 自分のスキルを最大限に生かして

マルチに活躍する濱田雄飛さん

はまだよしたか

- 1 児童の勉強の進み具合を確認し、アドバイスをする濱田先生
- 2 ディアン先生(右)と一緒に英語でゲームをして児童たちと大盛り上がり
- 3 英語の授業のほか皆さんが読んでいる広報かわらの制作をしています

協力隊では、情報発信担当として協力隊の活動風景や暮らしの様子、町内を回り見つけた「面白いことや人」をフェイスブックやブログ、ポスターや広報紙を通じて、町内外の人たちに香春町の魅力ある情報を発信しました。

協力隊3年目の時に、縁があつて町内の中学校で英語部の活動を行うことに。それがきっかけとなり、協力隊を退任後すぐ、町内の小学校での英語授業のALTとして活動することになりました。もともと、アメリカの大学を卒業し、10年住んでいたので、私の経験を伝えたい、教えたい思いがあり、格好の機会をもらえたと思っています。

さて、授業に参加し始めたころは、右も左もわからない状態。できることと言えば、英語をただ流暢に話せるぐらいでした。しかし、ディアン先生や採銅所小の山口先生、昨年度、英語授業のアドバイザーとして入っていた中園先生など周りの先生の助言などをもらい、実践しつつ英語の面白さ、海外の興味深いこと

ころなどを楽しく教えることができるようになってきていると思います。

また、昨年10月から通信制大学で教員免許取得に向けて勉強に励んでいます。英語の授業を行っていることもあり、英語関係の単位は比較的簡単に取れるんですが、それ以外はまだまだ勉強しないといけないところが多く、論文作成に四苦八苦しています。免許取得には、まだ2年近くかかる予定で、子どもたちにより良く、楽しく英語を教えることができるよう頑張っています。

小学校だけでなく、引き続き中学校の部活の講師や町の広報紙の編集補助員としても活動しており、忙しくも充実した暮らしを行っています。町の広報は、町民の皆さんに「読みたい!」と思ってもらえる日本一の広報紙を目指して役場の担当職員とともに制作しています。これからも英語の楽しさを子どもたちに教え、伝えるとともに、香春町の魅力を多くの人に知ってもらえるよう頑張ります。



香春町の移住情報サイト「カワラXカケル」
移住してきた人々の想いや町の皆さんの声などを掲載しています。
詳しくは左のQRコードや、「カワラカケル」で検索してください。

カワラ X カケル
香春町 X
KAWARAKAKERU



7月号 香春町協力隊だより

ものづくり担当



鎮西町区
村上夕子隊員

私は地域おこし協力隊や染色、グラフィックデザイナーのお仕事のほかに、直方の中小企業支援センターでデザインアドバイザーとしても活動しています。

デザインアドバイザーとは、今あるチラシや名刺、パッケージ、webサイトなどの「デザイン」をもう少し「良くしたい」という相談者さんにどうすればもっと「良くなるか」をアドバイスするお仕事です。最近ではいろいろなアプリなどを使ってご自分で作られる人も多くなったので「アドバイザー」というかたちで皆さんの役に立っているのは嬉しいです。



▲香春町在住で「米粉スイーツ」を販売している鈴木志帆さんが相談に来られました。

コロナウイルスの影響で自粛していた駅舎業務も再開し、着々と今後の移住促進に向けて準備を始めました。6月8日からKBCにて放送していた「ふるさとWish」のCM撮影や、今後のwithコロナでのマルシェを計画したり、地域体験として地域の人と山へ行き真竹を収穫したりしました。

また、業務外ではありますが、新人消防団員研修を受けに消防学校へ行き、丸一日かけて訓練を受けました！消防団の成り立ちを改めて知り、消防団を地域コミュニティという観点から見ると、協力隊としての今の活動のヒントになることが多いように感じました。

今月は、久しぶりに人と対面して作業をし、人と触れ合う関係性の築きがどれだけ影響力が強いのかを再確認した1か月になりました！



▲収穫した真竹です。孟宗竹の筍とは違いサクサクとした食感で美味しかったです。

ナリワイづくり担当



下高野1区
小野沢春輝隊員

半農半X担当



柿下区
小玉篤美隊員

6月初旬、早生のボイセンベリー(ブラックベリーとラズベリーの交雑種)が収穫期を迎えました。プランター栽培なので実付きは期待していませんでしたが、予想以上に実りました。ただ、酸っぱさが際立っていたので、露地栽培に切り替えて来年はより甘く、豊作を狙います。

そして7月に入ると晩生のブラックベリーが収穫期を迎えます。植物生理上、2年目のシュート(前年に地下から伸び出た茎)に実がつくので今年は少しの収量ですが、来年たくさんできることを期待しています。

また、1.5年苗のブルーベリーは20株あり、まだ小さいので3年ほどは摘花(摘果)して木を気長に育てていきます。ゆくゆくは、動物がいてベリー狩りもできる複合型の循環農園を目指しています。



▲収穫期のボイセンベリー。育て易く、家庭菜園にも適しています。

半農半X担当



採銅所4区
三村信也隊員



▲ZOOMでのイベントの様子

フェイスブックでも私たちの活動や香春町の情報を発信中！「いいね」や協力隊目線の情報を読んでみてください。スマートフォンで左横のQRコードからチェック！



制作・編集 / 香春町役場まちづくり課
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408
採銅所駅舎内第二待合室 ☎ 32-3115

香春町地域おこし協力隊の 元気な情報をチェック!



香春町移住情報サイト

「カワラカケル」協力隊ブログ

Facebook (フェイスブック)



香春町の紹介・空き家情報・お試し居住「トライアルステイ」情報などを掲載した移住情報の総合サイトです。協力隊の活動の様子や町の魅力をお伝えする「地域おこし協力隊ブログ」をぜひご覧になってください!



地域おこし協力隊が香春町で普段どんな活動をしているのか。イベントの開催情報、町内で発見した季節の小ネタなどの最新情報をチェックできます。ぜひ、フォローしてくださいね!



Instagram
(インスタグラム)



Twitter
(ツイッター)



「協力隊だより」バックナンバー

毎月、地域おこし協力隊の活動内容や特集記事、イベント告知などを載せた新聞を発行しています。過去に発行された「協力隊だより」の全てをホームページに掲載しています。これまでの協力隊たちの歩みをぜひチェックしてみてください。



香春町の移住情報サイト「カワラXカケル」移住してきた人々の想いや町の皆さんの声などを掲載しています。詳しくは左のQRコードや、「カワラカケル」で検索してください。



8月号

香春町協力隊だより



▲染色教室で、ハンカチ染めをする幼稚園の子どもたち。

7月は他地域の幼稚園児たちが採銅所に来て染色教室をしました。電車の乗降訓練のため採銅所駅を利用する園児たちに「自然あふれる採銅所で自然体験、ものづくり体験をさせたいのです！」という幼稚園からのご依頼により実現しました。

まだ3・4歳の園児たちが一生懸命ハンカチを絞ったり、染色をしたりする様子はとても可愛らしかったです。駅周辺に園児たちの笑い声が響いて、近所の人達も目を細めて微笑みながら園児たちを温かく見守ってくださり、私自身もとても素敵な時間を過ごすことができました。

今後もしも色んなところから香春町に子どもたちがきてくれるようになればいいなと思いました。



ものづくり担当

鎮西町区
村上夕子隊員



ナリワイづくり担当

下高野1区
小野沢春輝隊員



▲プランター設置作業の様子

移住促進の一環として、オンラインイベント「田舎をいかす暮らし方」で地方移住の質問に答えました。協力隊が実際の移住体験をもとに、現在の活動のことや、移住してみても変わったこと、感じたこと、などさまざまな情報を主に県外の人に向けてお話ししました！また、「移住」をテーマに改めてブログ記事を作成し、香春町移住情報サイト「カワラカケル」にQ&A形式で掲載しています。移住するまでのプロセスが少しでも伝わればと思います。

採銅所駅舎の新しい取り組みとして野菜のプランター栽培を始めました。環境美化とプランターをキッカケに新たな交流が生まれればと思っていますのですが、早速地域の人と即席の苗の交換会が行われ、四季なりイチゴの苗をゲットしました！



半農半X担当

柿下区
小玉篤美隊員

4月から、香春町移住情報サイト「カワラカケル」の協力隊ブログページで、旬の野菜を使ったレシピ投稿を月1回ペースで始めました。

今月は葉胡椒と海苔のナムルです。九州の青唐辛子の栽培量は、去年香春町にやってきて驚いたことの一つ。九州の特産品「柚子胡椒作り」のためだったのでですね。

私は菜食料理が専門なので、レシピは植物性のみを使っていて、材料少なめでさっと作れて、でもちよっと丁寧な料理を意識しています。「里山の食卓」という名前でクックパッドへのレシピアップも始めたので、見てもらえると嬉しいです。



▲香春町移住情報サイト「カワラカケル」の協力隊ブログにレシピを掲載しています。



半農半X担当

採銅所4区
三村信也隊員



▲餌を求めて寄って来る様子。
1羽1羽、足や嘴の色、羽の柄が微妙に異なります。

農に関わる取り組みテーマで4月から綴っています。4月はニワトリ、5月はニホンミツバチ、6月は野菜パイヤ、7月ブラックベリー、そして今月は合鴨(農法)です。広報かわら7月号で田植えと一部合鴨の様子をお伝えしたので、今回はその後の様子をご紹介します。

5月末に生まれた合鴨の雛は、1か月半でもとても大きくなりました。ニワトリの雛と比較して2倍もの速さでスクスク成長しています(食欲も2倍)。合鴨はアヒル(家畜向き)とマガモ(野生種)の掛け合わせで、周りの音や動作にやや敏感ですが、餌付けが功を奏し「来〜い来い来い」と呼ぶと近寄ってくるようになりました。穂が出る直前までは田で育てますが、その後どう飼育するか、現在考えを巡らせています。



フェイスブックでも私たちの活動や香春町の情報を発信中！
「いいね」や協力隊目線の情報を読んでみてください。
スマートフォンで左横のQRコードからチェック！

制作・編集 / 香春町役場まちづくり課
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408
採銅所駅舎内第二待合室 ☎ 32-3115

🍈🍈🍈 青い渋柿買い取ります! 🍈🍈

干し柿をお作りの皆さん、渋柿の摘果（てきか）をしませんか？

摘果とはご存知の通り、青い実がついた段階で間引きすることです。

植物が育つには栄養が必要で、その栄養は根から吸収されて株や木全体にまわります。

でもいくら肥料をあげても根が吸い上げる栄養には限界があります。

そのため、果実の数が多かったらひとつあたりの栄養は少なくなり小さい実しか付けられないのです。

そこで！青い実をつける夏に摘果を行うことで、秋に丸々と大きな実を付けてくれるそうです！

「今年は摘果しようかな」と思った皆さん！是非その摘果した「青い渋柿」を買い取らせてください！

買い取った渋柿は「**香春町産柿渋（かきしぶ）**」へと有効活用させていただきます！

もちろん間引きしたものでなく「うちの採っていいよ！」という方も是非ご連絡ください。

香春町の渋柿から作った柿渋染商品を日本中、世界中に広めるためご協力いただけると嬉しいです！

期間：8月10日（月）～25日（火）

買値：40円 / 1kg（コンテナ一杯が約20kg くらいです）

集荷場所：香春町中津原 2075-2

電話番号：090-5488-3485

※受入準備が必要ですので、必ず一度ご連絡ください！

収穫に関する注意事項（※必ずお読みください！）

① 買取するのは渋柿のみです

甘柿は買い取れません。甘柿でないか必ずご確認ください。

見分け方・・・かじると渋い。切ってみて実にゴマ（黒い点々）が入っていない。

② 青柿以外は入れないでください。

黄色くなったものは買い取れません。

③ 必ず枝や葉は除いてください。

ヘタの上で切って実のみ入れてください。

この状態



④ 柿の実には傷つけないでください。

傷のあるものは買い取れない場合があります。

⑤ 柿渋作りは鮮度が命です。その為収穫した日のうちに絞るので、当日朝収穫し

昼過ぎに持ち込みいただけるとありがたいです。

香春町産の柿渋で染めた商品が「福岡県よかこビジネスプランコンテスト」で入賞しました！香春町産の商品を日本中、世界中に広めていくため、今後たくさんの渋柿が必要になります！

香春町の地域おこしのためにも、ご協力いただけると嬉しいです！



地域おこし協力隊：村上夕子



香春町の移住情報サイト「カワラXカケル」
移住してきた人々の想いや町の皆さんの声などを掲載しています。
詳しくは左のQRコードや、「カワラカケル」で検索してください。

カワラ カケル
香春町 X
KAWARAKAKERU



▲今年は赤村の協力隊の人も「作り方が知りたい」ということで手伝ってもらいました。

今年も柿渋作りを行いました！今年は裏年だったので、渋柿の数がとても少なかったのですが、ご協力いただいた皆さまのおかげで、なんとか作ることができました。今回から「渋柿の買い取り」を始め、広告も回覧してもらったので、去年までよりもたくさんの方の皆さまが私の活動を知ってくださったようです。この猛暑の中での作業は大変ですが「頑張ってるね！」「応援してます！」と言ってもらえることが何よりの励みです！ご協力いただいた町民の皆さま本当にありがとうございます！

これから柿渋を熟成させて、染まるようになるまで2〜3年かかります。出来るようになるまでご協力いただいた皆さんの顔が浮かぶんだろうな〜と「タイムカプセル」を仕込む気分でした！



もろへつ柿

鎮西町区
村上夕子隊員



ナリワイづくり担当

下高野1区
小野沢春輝隊員



▲畑での撮影風景。

香春町の暮らしを都市部に向けて発信するために、現在ポスターを作成しています。過去には、キャンプや焚き火といったテーマをもとに、ポスターを作りました。今回のテーマは「香春町で暮らす」で、香春町に住む家族の一日にフォーカスしました。モデルとなってもらったのは、協力隊OBで現在不動産屋を経営している手島さんご一家です！

先日カメラマンとして、手島さんご家族を撮影しました。自宅での写真やテレワーク中の写真、呉ダムでのピクニック、畑での収穫など身近な生活をテーマに撮影しました。コロナの影響で都市部では生活し辛い雰囲気がある中、香春町のような自然が生活のすぐそばにある環境というのは、今の時代にピッタリなのではないかと思えます。



▲参加者が作っている梅干し

長かった梅雨も明け、待つてましたばかりに梅を干しました。

オンライン開催した「梅干し作り」イベントはスタートから2か月が経過。参加者全員で首を長くして梅雨明けを待ちました。

嬉しいことに、佐賀から参加した人が、2度香春町に来てくださり、月2回開催しているかずらのイベントにも参加してくれました。その日は、かずらイベントからドライブイン香春でお昼ご飯、上野焼香徹山窯、呉ダム渓流公園、採銅所駅舎など香春町のオススメルトを満喫してもらいました。何かのイベントを開催することで、その後もご縁が続いていくのはとても嬉しいです。



半農半X担当

柿下区
小玉篤美隊員



半農半X担当

採銅所4区
三村信也隊員



▲元気に孵った烏骨鶏の雛たち

農業としての家畜飼育を以前から実験的に継続しています。そして今回自宅にて家庭用孵卵器で有精卵を温め始めました。採卵用に平成27年から初生雛を3羽飼育開始、令和元年に5羽(現在採卵中)、今回は卵をかえすところからの挑戦です。孵卵器には鶏の卵を15個(赤玉系の後藤もみじ)と、烏骨鶏の卵を11個入れ、ヒヨコが生まれ始めています。

今後自然養鶏という雌鶏が健康な卵を産めるよう自然に近い環境での飼育を目指し、放牧予定の果樹畑を準備中。周りでも庭先や畑などで飼育開始する養鶏仲間が増えていけばいいなと思っています。



フェイスブックでも私たちの活動や香春町の情報を発信中！「いいね」や協力隊目線の情報を読んでみてください。スマートフォンで左横のQRコードからチェック！

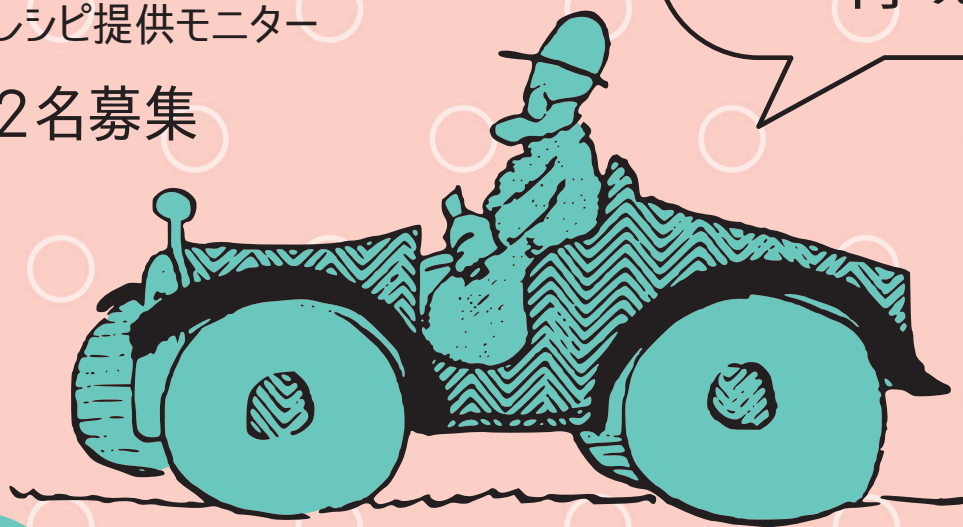
制作・編集 / 香春町役場まちづくり課
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408
採銅所駅舎内第二待合室 ☎ 32-3115

珍しい野菜を 作ってる農家さん 大募集!

レシピ提供モニター

2名募集

9月からでも
たとえば写真のお野菜が
育ちます



コリアンダー



ぐるぐるビーツ



ロマネスコ



紅法師

こんにちは。香春町地域おこし協力隊小玉です。菜食料理家として活動している私は、直売所のヘビーユーザーです！いつも心のこもった野菜を届けてくださり、ありがとうございます！

香春町に移住して1年半。一つ思うことは、筑豊全体でもっと珍しい野菜を購入することが出来たらなあということです。

けれど、作る側にとって

- 珍しい野菜を作っても売れない
- 食べ方がわからないと言われる
- 九州の気候に合わない
- 収量が少ない

など理由は色々あると思うのです。もし食べ方を伝えることが一つの解決策となるのなら、お手伝いできるかもしれないと思い、今回限定モニター2人までレシピ考案と、直売所へのポップ作りのお手伝いをさせていただこうと思います。

～応募条件～

- ①香春町の農家さんであること、もしくは 町外在住でも香春町の道の駅『わぎえの里』に出荷している農家さんであること。
 - ②珍しくて売れなかったなど上記に記載したような悩みがあった人、もしくは今後珍しい野菜を作っていこうと思っている人。
 - ③この野菜珍しいのかわからないけれど、レシピ付きなら売れるのか試したい人。
- *準備もあるため、今回は11月から12月中に収穫予定の野菜に限定します。
*お申し込みの人数が多かった場合は選考とさせていただきます。(締め切り9月30日)

申し込み先 探銅所駅舎内第二待合室

開館時間：9時～17時/水・木休み

TEL/FAX：0947-32-3115

香春町地域おこし協力隊 担当/小玉



香春町の移住情報サイト「カワラXカケル」
移住してきた人々の想いや町の皆さんの声などを掲載しています。
詳しくは左のQRコードや、「カワラカケル」で検索してください。

カワラ カケル
香春町 X
KAWARAKAKERU

10月号 香春町協力隊だより



もろへつこ担当



鎮西町区
村上夕子隊員

「廃校と地域の未来を考えるつどい」に参加しました。「廃校」というコンテツを軸に「自分にとっての素敵な街ってどんな街だろう?」「自分は香春町を今後どんな街にしていきたいのか?」「そのために一体何ができるのだろうか?」「今香春町に本当に必要なものって、逆に必要ないものって何なんだろう?」という「香春町の未来について向き合う時間」を町民の皆さんと共有できる機会が持てたのはとても良かったです。今後こんな時間がたくさん持てると良いなと思いました。

さて、先日は「レモングラス」を使って染めました。ハーブ染は染める間、良い香りが庭や家中にふんわり漂うので大好きです。とてもきれいな黄色に染まりました。



▲レモングラスの香りはリラックス効果や頭をスッキリさせる効果があります。

今月は、香春町の廃校会議「廃校と地域の未来を考えるつどい」に参加しました。小学校区別に行われた会議に参加をしてみ、それぞれの地域性を感じる事ができました。普段は、採銅所駅舎で勤務しているのですが、採銅所は自主運営組織設立を視野に入れながら、地域の複合的な施設として、できる限り自活して小学校跡地を運営していくという流れで話が進み、とても面白い動きだと思いました。

協力隊も移住促進という側面から、関わっていただけると個人的に思いました。今後、持続可能な町となるためには、もっと移住や空き家という視点が大切になっていき、外も巻き込んだ循環を協力隊から発信していかなければと思います。



▲参加した採銅所小学校区でのつどいで行われた意見交換の様子。

ナリワイづくり担当



下高野1区
小野沢春輝隊員

半農半X担当



柿下区
小玉篤美隊員

昨年まで香春町役場が主催していた「香春農業塾」の仲間と、農ある暮らしを実践している私の友人を誘い、「^{もみぢ}穀くんたん作り」と「かまの研ぎ方」ワークショップを開催しました。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、少人数で行いましたが、「農」で繋がった仲間たちで情報交換も盛り上がり、楽しい時間となりました。

今あるものを利用する。直して使う。協力隊の任期中は百の仕事をするお百姓さんの技術を一つでも多く習得したいです。昔はこんなこともしてたんですよ。というアイデアあったら教えてください。



▲^{もみぢ}穀くんたん作りの様子

9月中ごろ、合鴨田の稲刈り・はさ掛け(稲を束で吊るす天日干し)を行いました。この様子は「広報かわら11月号」に掲載予定なのでぜひ、ご覧ください!

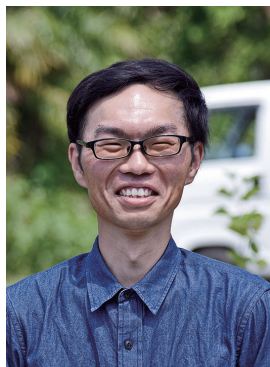
今回は林業研修で、八女市星野村にてチェーンソー講習を受けました。農業と林業は相性が良く、春夏秋は有機農家(果樹野菜、自然養鶏)、冬は自伐林家(少人数チームでの間伐活動)として、山からの恩恵を田畑に還元し、持続型農業を实践できます。地域の環境保全の一助を担いながら、薪づくりや原木椎茸・キクラゲ栽培なども今後の小さな事業になり得ると考えています。

全くの初心者から、最終日には直径30cmの杉を切り倒すなど、実際の伐採作業を身をもって体験できたのはとても良い経験になりました。



▶チェーンソーで切り込んだ後、くさびを叩いて狙った方向に木を倒している様子。

半農半X担当



採銅所4区
三村信也隊員



フェイスブックでも私たちの活動や香春町の情報を発信中!
「いいね」や協力隊目線の情報を読んでみてください。
スマートフォンで左横のQRコードからチェック!

制作・編集 / 香春町役場まちづくり課
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408
採銅所駅舎内第二待合室 ☎ 32-3115



世界三大伝承医学
Aryurvedaなインド料理教室

美味いだけでなく、
心が癒され身体が喜ぶ汁はん

11/2 or
11/3

動画配信

砂糖不使用の
オートミール

11/7

リアル

10:00-14:00

Ayurvedaな6品

11/14

オンライン

10:00-12:00

Ayurvedaな4品



うきはは市協カ隊主催の
協カ隊フェスコにてオート
ミール作りの動画配信を
行います。詳細はFBにて！
参加費無料申込み不要

Ayurvedaとは
インドに古くから伝わる医学で世界三大
伝承医学と言われています。古くは医学
せに生きる道という 自然科学や哲学的面
も含んでいますが、身体は3つの要素(土
リヂーシャ) からできており、そのバランス
が崩れると病気になるという概念から
予防医学として知られています。

自宅料理教室です。
秋のお野菜を使った身
体に優しい6品を作ります。
3000円
・kichiri
(インドのおかゆ)
・chapati
(全粒粉のプレッド)
・秋野菜のサブリ
(野菜のスライス煮)
・他3品

Zoomを使ったオンライン教室の
参加には200mのインストールと
インターネットの環境が必要で
す。材料は各参加者
自身で揃えていただきます。
詳細はこのチラシの裏面を参照
ください。2500円
・kichiri
(インドのお粥)
・chapati
(全粒粉のプレッド)
・他2品

11/7 リアルな教室

10:00-14:00

コロナ対策として、リアルな教室はマスクの着用をお願いいたします。当日の体調が優れない場合参加をご遠慮ください。リモートセッションと実践半々くらいのクラスです。エプロン、食べきれなかったお料理を持ち帰るタッパーをお持ちください。帰ってからすぐに着く見れるように、使用したスパイスのお土産がつきます。場所はお申し込み後にご連絡します。(定員5名)

11/14 オンライン教室

10:00-12:00

オンライン教室の材料は参加者各自で揃えていただきます。材料代は教室代金には含まれません。事前にメニューと補える食材、必要な道具、準備をご連絡します。使用するスパイス類は、事前にこちらから郵送します。郵送手配の都合上、申し込み締め切りを11/7とさせていただきます。(定員5名)

お支払い方法

教室代金は事前振り込みとなります。お振込はPayPayもしくは銀行振り込みとなります。お申し込み後にふりこみ口座のご連絡をいたします。

その他

お料理は全て動物製品不使用のveganレシピです。その他アレルギーのある方は代替案がご案内できます。事前にご相談ください。

お申し込み方法

香春町地域おこし協カ隊FBイベントページよりフォーム入力 もしくは採銅所駅舎内第二待合室/0947-32-3115(水木休み；担当/小玉)まで

講師は香春町地域おこし協カ隊
小玉です。



協カ隊になる前は毎年インドにゆくイン
ド好き。カレー屋さんの屋台出店許可を
取ったところでのコロナ禍となりました。
食べることは生きること。心と身体に寄り
添うインドの味をお伝えできたららと思
います。



香春町の移住情報サイト「カワラXカケル」
移住してきた人々の想いや町の皆さんの声などを掲載しています。
詳しくは左のQRコードや、「カワラカケル」で検索してください。

11月号 香春町協力隊だより



もろへつこ担当



鎮西町区
村上夕子隊員

先月の協力隊だよりで紹介した「レモングラス染め」の生地は、縫製してアイピローになりました。小豆入りの内袋をレンジで温めて、「レモングラス染め」したダブルガーゼの外袋に入れて使います。目の周りを温めることで血流が良くなりコリをほぐすため、目の疲労を取ってくれたり、ドライアイの改善にもなったりするそうです。私は寝る前に使っているのですが、睡眠前に使用する副交感神経が優位になり、体全体をリラックスさせることができ、寒い季節はどうしても体が縮こまってしまうがちですし、気づかないうちにスマホやパソコンで目を酷使してしまっている可能性も。アイマスクおすすめですよ！



▲上の内袋に小豆を入れて、下のレモングラス染めした外袋に入れて使います。

山下町区にある「かずら工房」は町内外の人が集まる小さな拠点となっています。はじめは、私たち協力隊含む近所の人たちが、かずら工芸を学ぶ場として月に2回集まり、かずらを編みながら、お喋りやお茶をしていましたが、町外に噂が広まり、町外からの参加者が少しずつ増え、いつの間にか様々な人が集う交流の場となっています。先日はこの集まりに興味を持ってくれた新聞記者さんが取材に来てくれました。地域コミュニティの減少が問題視されている中で、小さな集まりかもしれないけれど、様々な世代や地域の人交流する場というのは、貴重になって来ている証拠だと実感しました。山下町区だけでなく町内の各地で少しずつ、「交流の場」を増やしていければな、と思っています。



▲新聞記者の取材に応じている様子

ナリワイづくり担当



下高野1区
小野沢春輝隊員

半農半X担当



柿下区
小玉篤美隊員

不用品の情報掲示板サイト「福岡ジモティー」で3.5升炊き、直径52センチメートルの特大羽釜を2つ、破格の値段で購入しました！しかし蓋がなく、購入すると一つ3万円くらいするそうなので、教わりながらヒノキで作りました。香りも色も大満足です。炊き台も、香春町に住むD-I-Yの先生がドラム缶を切って作ってくれました。

今月に早速、幼稚園児へのイベントでこの羽釜を持って出動します。そして近所さんと塩作りも試みまします。昔は隣町では塩作りをしていたそうです。なんとこちらも一気に湯がけるのが嬉しいですよ。火のある暮らしがまた身近になりました。



▲先日試し炊きをしました

半農半X担当



採銅所4区
三村信也隊員



▲収穫した新米。実感として食味◎、粒の大きさ◎、収量△でした。

今年初めて取り組んだ合鴨農法での有機米づくりを無事に終えることができました。米づくりの面では、種まき・苗づくり以外の耕耘・代掻き→田植え→水管理→稲刈り→竹竿天日干し・水分測定→脱穀・籾摺り・精米までを、合鴨の面では、畔波シート・電気柵・防鳥テグス張り→育雛↓放鳥↓水田での管理↓成鳥引き上げ↓肥育までを、たくさん失敗を繰り返しながら一連の流れを通して経験しました。大変な工程を一度経験したことで、実際の・時間的に少し要領がわかったので、どうやれば最善かを考えて次回は取り組んでいきます。今回は合鴨効果(特に雑草除去、害虫防除、株元刺激)の実感と、人の手で行った際の稲の収穫・収穫後の処理の難しさを経験できました。



フェイスブックでも私たちの活動や香春町の情報を発信中！「いいね」や協力隊目線の情報を読んでみてください。スマートフォンで左横のQRコードからチェック！

制作・編集 / 香春町役場まちづくり課
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408
採銅所駅舎内第二待合室 ☎ 32-3115

皆さんが知っている 香春町のコト お聞かせください！

香春町地域おこし協力隊として香春町に移住者を呼び込む活動をする中で、「香春町に住みたい!」「香春町で店を開きたい!」などの移住希望者の声があります。しかし、こうした声というものに対して、私たち地域おこし協力隊が把握している情報のみでは、力不足になって来ています。

空き家に関しても、町内にはたくさんの空き家が存在しておりますが、空き家バンクに登録されている物件は多くありません。空き家バンクを通して所有者と連絡が随時取れる状況がないと、空き家を活用することが難しくなってしまう。

また、移住希望者に対して、町の特色をアピールするために、香春町や各地域の特色について今まで以上の情報を知りたいという思いから、戸別に訪問させていただきたいと思っております。地域の特色、普段の困りごと、歴史、空き家、空き地など、お聞かせください。

※訪問にあたっては、『マスクの着用』『事前の検温』『手指消毒』を徹底し、また滞在時間をできる限り短くするなど、万全な新型コロナ対策をとったうえで行います。



採銅所地区から
スタートします！

問い合わせ先
採銅所駅舎内第二待合室
香春町地域おこし協力隊(担当:小野沢)
☎ 32-3115
休館日: 毎週水曜・木曜

私が皆さんのお家へ
訪問します！

香春町地域おこし協力隊
ナリワイづくり担当
小野沢 春輝(おのざわ はるき)



香春町の移住情報サイト「カワラXカケル」
移住してきた人々の想いや町の皆さんの声などを掲載しています。
詳しくは左のQRコードや、「カワラカケル」で検索してください。

カワラ X カケル
香春町 X
KAWARAKAKERU

12月号 香春町協力隊だより



▲バリ舞踊教室の参加者と一緒
記念撮影

トライアルステイで香春町に1か月ほど滞在していた大野さとみさんはバリ舞踊の先生をされています。バリ舞踊とは、インドネシアのバリ島で儀式や冠婚葬祭の際に、ガムランという民族音楽に合わせて踊る民族舞踊です。せっかくなので、バリ舞踊教室を開いてもらい他の協力隊も一緒にチャレンジしました。踊りの基本姿勢が腰を落としたスクワットの体制で、指先から足先まで流れるように動かし踊ります。一曲が約10分ほどあるので、優雅に見えてとても体力と筋力が必要な踊りでした。はあはあと言いながら踊る私たちをよそに涼しい顔をして笑顔を保ったまま踊る大野さんはさすがでした。



ものへつくり

鎮西町区
村上夕子隊員



ナリワイづくり担当

下高野1区
小野沢春輝隊員



▲アンケート調査で、畑や裏山を案内してもらいました

皆さんの自宅を訪問しアンケート調査を実施しております！香春町内でも、地域によって特色や風土が違い、みなさんの普段の何気ない行いや習慣に目を向けることで、各地域のことや香春町全体のことをもっと深く知ることを目的とします。また、今後移住希望者の増加に備え、空き家物件のこともお聞きしています。地道な活動になると思いますが、皆さんと対話を重ねながら、改めて関係性を築いていければなと思っております。皆さんからお聞きしたことをもとに、その地域ならではの地域活動などに発展させていければ良いかと考えています。新型コロナウイルスの影響かはわかりませんが、実際に移住相談の件数は増えており、「ちょっといい田舎」な香春町が求められているのかもしれない。



▲料理教室の様子と、作成したペーパーバッグの作品

《自宅開放料理教室》
11月に入ってから、自宅を開放した料理教室を週末に開催しています。香春町での仕事づくりの試みとして、11月を『料理教室を集中的に行う月』としてみたのですが、福岡市や北九州など都市部からも参加者が集まってくださり、料理教室の後に参加者が講師の新聞紙で作るペーパーバッグの教室も開催しました。町内町外問わず集まる人が増えてきて、人や情報が繋がりと交換ができる場を作りたいと思っています。こんな技術を人に伝えたい、仲間を作りたいという人は、小玉までお気軽にご連絡くださいね。



半農半X担当

柿下区
小玉篤美隊員



半農半X担当

採銅所4区
三村信也隊員



▲鶏と合鴨とヤギとで仲良く共生しています

10月末から、念願の子ヤギを飼い初めました。熊本県山都町の若手有機農家さんから譲り受けた、雄のシバヤギ種と雌のトカラヤギ種から産まれた小型雑種の雌ヤギです。生後4か月程で、今が一番かわいい時期です！「メイ」と名付けました。朝晩にエサの雑草を与えていて、人と一緒に好き嫌いがあり、観察を通してどの草を好んで食べるかが少し分かってきました。ヤギは食べた草を反芻する動物で、生態を観察するとなかなか面白くもあります。今後は農園の家畜として、草刈りやヤギミルク、堆肥の畑作利用を目的に搾乳に適したザーネン種のヤギを徐々に増やしていきたい考えです。また、数年後には馬を迎え入れられたらと想いを巡らしています。

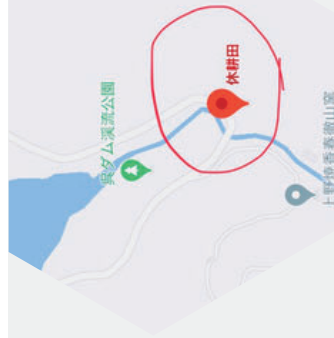


フェイスブックでも私たちの活動や香春町の情報を発信中！
「いいね」や協力隊目線の情報を読んでみてください。
スマートフォンで左横のQRコードからチェック！

制作・編集 / 香春町役場まちづくり課
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408
採銅所駅舎内第二待合室 ☎ 32-3115

Place to go!!

吳ダム溪流公園横



traditional!!

特大羽釜だきごはん



simple is the best!!

ばくだんむすび



Kawara's person!!

漬物製作者一人目
民泊村井屋店主 村井さん



Be local!!

自家製味噌の味噌汁
と焼き芋



Kawara

special!!

香春名物ビトの特製
漬物バイキング

ちびっこ集まれ!

香春名物ビトの手作り漬物バイキングで
羽釜だきごはんのバクダンむすびを食べよう!

火のある暮らし体験

自家製味噌の味噌汁&焼き芋付き

2020.12.20[SUN] 11:30-14:00(自由解散)

場所：吳ダム溪流公園横休耕田/雨天中止

料金：大人/中学生以上：1500円 子供/小学生：800円

小学生未満：無料

持ち物：大きめのお皿、汁碗、お箸

*ゴミの削減にご協力ください。

当日紙皿は1セット50円で販売します。

申し込み方法：

0947-32-3115(水木休み：担当小玉)までお電話頂くか、
香春町地域おこし協力隊FBイベントページよりお申し込みください。
さい。コロナ対策として参加者名簿の作成にご協力ください。



香春町の移住情報サイト「カワラXカケル」
移住してきた人々の想いや町の皆さんの声などを掲載しています。
詳しくは左のQRコードや、「カワラカケル」で検索してください。

カワラ カケル

香春町 X

KAWARAKAKERU

1月号

香春町協力隊だより



もろへんこ担当



鎮西町区
村上夕子隊員

昨年11月に採銅所小学校で登壇させてもらった際、お話しする前に生徒たちの掛け合いがありました。「私たちのクラスは〇〇がうまくできていません。これからは〇〇して〇〇なクラスにしていきたいです!」と、それぞれのクラスが今できていないことをしっかり話し合い、今後につなげていこうとする思いに感動しました。同時に「私もしっかり自分のできていないところに向き合う時間を作ろう!」と思っていました。

私がお話している最中、みんなおしゃべりもせずじっと座って聞いてくれ、返事も大きな声でしてくれて、素直で優しい子どもたちだと感動しました。香春町の植物で染めた生地も持参したので、実際に触ってみてもらいましたが、植物染めに興味を持ってくれる子どもたちがいたのも嬉しかったです。

来年から香春町の小中学校は義務教育校になり、子どもたちは新しい校舎に移ります。環境も変わり、一緒に学ぶお友だちも増えることになりませんが、今後も素直で優しい気持ちを忘れずに楽しい学校生活を送って欲しいです。

11月29日に採銅所駅前にある堀永殖産さんの駐車場をお借りして、マルシェイベント「The Market」を開催しました。寒い中ではありませんでしたが、地元から遠方の方々までたくさんの人に来ていただき、野菜やコーヒー、カレー、お米、雑貨などの販売を行いました。

イベントのコンセプトは、「香春町から小さく稼ぐ」。人口減少や高齢化など、地方の抱える課題は山積みですが、このイベントを通して、様々な問題を楽しく乗り越えられるキッカケを作ることができればと思っています。また、たくさんの方が触れ合い刺激しあうことで、新しいことがこのマルシェから発展していけば良いと思います。

今回の開催は1月24日回を予定していますので、この機会にぜひ遊びに来てください!



▲ The Marketの様子

ナリワイづくり担当



下高野1区
小野沢春輝隊員

半農半X担当



柿下区
小玉篤美隊員

香春町の特産品『あま干し柿』を作っている干し柿ハウスから、商品にできない柿をいただいたことをきっかけに商品を作りました。

その名も『柿床のお漬物』。お友だちやお世話になってる方々に試食してもらいながら改善を試みて、「わがえの里」での販売が始まりました。現在は白菜を漬けていますが、時期に合わせて大根、かぶと、柿の在庫がなくなるまで販売します。美味しい!というお言葉たくさんいただきましたのでぜひ、見つけた際はお試しください。採りきれない柿(甘でも渋でも)採っていいですよ!の応援もお待ちしております!(笑)



▲商品にできない柿の再利用で商品化「柿床のお漬物」

先日、竹林整備で使用するチップの講習会に参加しました。採銅所「金明竹の里」にて行われ、約20人が参加しました。町内山間地域の里山を維持・改善するには、継続的に竹の間伐が欠かせません。そうして間伐で切り出した直径13センチメートルまでの竹を、粗めのチップや細めのパウダー状に粉砕します。講習会で粉砕した竹パウダーを、農業での堆肥用に実験的に乳酸発酵させています。

少し前の11月に自伐型林業チェーンソー講習を修了したので、今冬から地域の皆さんに教わりながら竹林での活動を始めていきます。また、町内で山林(雑木林・人工林)をお持ちで整備も兼ねて木を間伐して良いよという人が居ましたらぜひ、お声掛けください!



▲切り出した竹をパウダー状に粉砕している様子

半農半X担当



採銅所4区
三村信也隊員

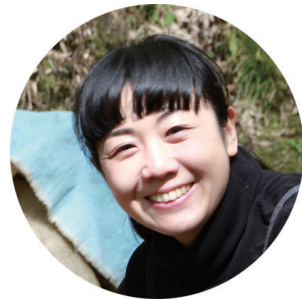


フェイスブックでも私たちの活動や香春町の情報を発信中!
「いいね」や協力隊目線の情報を読んでみてください。
スマートフォンで左横のQRコードからチェック!

制作・編集 / 香春町役場まちづくり課
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408
採銅所駅舎内第二待合室 ☎ 32-3115

⇒ 村上夕子 隊員の

はかり売りを見直したい!



「野菜やパンの個別包装って持ち帰ってすぐ捨ててしまうのにもったいないな」
 「持ち帰りのコーヒーやお弁当の容器って結構大きなゴミになってしまうんだよね...」
 「1袋にナスが6本、こんなにいらないんだけどな...」

日常生活でそんなモヤモヤを感じたことはありませんか？

容器を持参して「はかり売り」してもらえれば必要な分だけ小分けに購入でき、ゴミも減らすことができます。

こだわりを持った作り手さんの顔を見ながら直接購入できるのも嬉しいですね。

私たちのおばあちゃん、おじいちゃんの時代は当たり前だった「はかり売り文化」。

この「はかり売り文化」を呼び戻し促進したいと考えています。

プラスチック包装と食品ロスを減らす第一歩として、「本当に必要なのか」「なくても困らないのか」一度一緒に試してみませんか？

Facebookの「はかりうりマルシェ」グループページにご参加いただければ、はかり売りについての情報をご覧いただけます。この素敵な文化を香春町から再発信していけると嬉しいです。



去年 11 月に開催された「The Market」で持参の食器にカレーをよそってもらいました!



お米はいつもはかり売りで対応してもらってます。柿渋染のお米バッグ作りました!



畑で収穫してそのままザルにポン! かづらで編んだザルは野菜を持ち帰るのにちょうどいい。



手作りの柿渋で染めた後、蜜蝋でコーティングしてつくる「パンヤノバック」。ビニールの個別包装を減らしたい思いから開発しました!



こちらは柿渋染めの蜜蝋ラップ。野菜やおにぎりなどを包むラップの代替品。この他にも農家さんの依頼で薬物野菜用のバッグも開発中!

「はかり売りに対応したいな!」という農家さん、商店さん

何よりも安心安全に提供できるのが第一ですが、「はかり売り」は梱包資材コストの削減にも一役買ってくれる存在にもなり得るかと思います。興味を持っていただけた場合はまず「田川保健所」へお問い合わせみてください! 地域や担当者によっても状況が違うようです!

「はかり売りで購入してみたい!」という方には

香春町で開催される「The Market」では、はかり売りを推奨しているので、マイカップでのコーヒー販売や、食器持参の食事提供、お米や米粉のはかり売り、洗って何度も使えるエコ梱包資材の販売などもしています。食器を持参しなくても紙コップや紙皿もご用意しています!



The Market

1/24 Sun 11:00~15:00

JR 日田彦山線採銅所駅前 堀永殖産駐車場

出店者

yukuta(スパイスカレー)/新津ファーム(壺焼き芋)/あかまるキッチン(米粉)
 POT(染色雑貨)/貴紋-KIMON-(アクセサリ) など

※雨天やコロナウイルスの影響で急遽中止になることがあります。

☎ 採銅所駅舎内第二待合室(担当:小野沢) ☎ 32-3115



香春町の移住情報サイト「カワラXカケル」

移住してきた人々の想いや町の皆さんの声などを掲載しています。

詳しくは左のQRコードや、「カワラカケル」で検索してください。

カワラ カケル
 香春町 X 
 KAWARAKAKERU

2月号 香春町協力隊だより



▲整備した干場で柿渋染め



▲3年ものの柿渋

協力隊1年目に作った香春町産柿渋が、熟成していい色になりました。染めるために漉していたら、当時協力隊だった手島さんに手伝って貰って、猛暑の中頑張って作ったのを思い出し、とても懐かしい気持ちになりました。タイムカプセルみたいですね。あれからもう2年半、私も今年4月いっぱい協力隊を退任となりますが、熟成はまだまだのような。昨年には庭を整地して広い染め場も作ったので、退任後も香春町に残って柿渋作り染めは続けていきます。ということ、今年もどうぞよろしくお願いします！



もろへんこ柿

鎮西町区
村上夕子隊員



ナリワイづくり担当

下高野1区
小野沢春輝隊員



▲参加者が円になって話し合っている様子

昨年の10月から月に1回、大刀洗町で行われている「つながりの学校」に参加してきました。これは対話と呼ばれるコミュニケーション方法を用いて、町民主体となり町の未来像を作り、まちづくりを主体的に考える全4回のワークショップです。香春町でも廃校利活用をキッカケに、町民主体の話し合いの場が設けられ、地域運営組織設立を目標にした動きも出ていることから、話し合いの方法やワークショップの雰囲気づくりなどを勉強しに通ってました。年齢性別問わず多様な人が「つながりの学校」に参加しており、全員で町のことをポジティブに話し合いを重ねるといったことはとても素敵なことだと思えました。ここで学んだことをぜひ、今年から香春町でも生かしていきたいです！



▲羽釜を開けた瞬間甘い香りに包まれます

羽釜炊きご飯を食べる
火のある暮らし体験

12月20日に呉ダム渓流公園の上の休耕田にて、3.5升炊ける特大羽釜で炊いたご飯で、香春町の名物な人達の手作り漬物を詰め込んだ「爆弾おすび」を食べるイベントを開催しました。

ご飯と味噌汁と漬物、simple is the best. 美味しいという声が四方八方から聞こえてきました。遠方からも足を運んでいただき、火を囲んで温かい交流ができました。



半農半X担当

柿下区
小玉篤美隊員



半農半X担当

採銅所4区
三村信也隊員



▲先輩方との練習を兼ねての山作業

2021年に入り、町内で新年最初の木を切りました。昨年八女市での自伐型林業研修後から、町内外での繋がりで徐々に山に入る機会ができてきました。運転免許に例えるなら、まだ初心者マークを付けて運転を始めた段階なので、安全面を確実にした上で伐倒する(木を切る)数をこなして徐々に身体感覚を身につけていきます。

こうして間伐した木の活用方法として、①素材を活かしての丸太の腰掛け・ベンチ・柵など簡素で実用的な木工、②冬の薪づくり、と身の回りで必要なものから作り始めます。ゆくゆくは自身の一つの小さな仕事にしていけたらと、楽しみながら進めることにしています、地域の先輩方から知恵と技術を学ばせてもらっています。



フェイスブックでも私たちの活動や香春町の情報を発信中！
「いいね」や協力隊目線の情報を読んでみてください。
スマートフォンで左横のQRコードからチェック！

制作・編集 / 香春町役場まちづくり課
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408
採銅所駅舎内第二待合室 ☎ 32-3115



第2回果樹剪定講習会

12月に開催した広島県で農業技術指導を行っている(株)グリーングラス代表取締役の道法正徳さん（どほうまさのり）を講師にお招きした果樹剪定講座。大好評につき、3月にその第2段を開催しますので、興味がある人の参加をお待ちしています。今回の講習会は、採銅所地区で香春町の特産品である『柿』の剪定を学びます。特に大木になってしまい収穫できなくなってしまう柿の木を一度チェーンソーでリセットする体験作業を予定しています。そのほか、柚子の剪定、根を縛って植えるという道法さんオリジナルの果樹定植を体験します。アットホームな温かい雰囲気での講座です。前回参加されなかった人も、なんだか気になるという人はぜひ、参加ください。

■日時

3月21日(日)

10時～15時

■集合場所

採銅所干し柿ハウス

※申し込み後に場所の詳細を連絡します。

※最寄りのJR採銅所駅からの送迎もあります。

■定員

35人

■参加費

3600円

※中学生まで無料。(ランチ準備のため、申込時に人数を伝えてください)

※カリーのランチ付き。

■用意するもの

①剪定ばさみ ②軍手 ③汚れてもよい服装

④メモ帳、筆記用具

⑤食器類(カリー用プレート、スプーン、ハシなど)

■申込方法

協力隊フェイスブックイベントページの申込フォームまたは、採銅所駅舎内第二待合室まで電話にて申し込みください。(担当：小玉)



▲コチラの2次元バーコードからもアクセスできます。

そこにおける展

イラストレーター
“そこにおける”展示会

2/14 Sun ~ 21 Sun 9:00~17:00

JR 採銅所駅舎内第二待合室 ※2/17,18 閉館

☎ 採銅所駅舎内第二待合室(担当：小野沢) ☎ 32-3115



そこにおける展

※新型コロナ感染状況や天候により、イベントが中止となる場合がありますことをご了承ください。



香春町の移住情報サイト「カワラXカケル」
移住してきた人々の想いや町の皆さんの声などを掲載しています。
詳しくは左のQRコードや、「カワラカケル」で検索してください。

カワラ カケル
香春町 X
KAWARAKAKERU

3月号

香春町協力隊だより



▲子どもたちと一緒に楽しく絞り染めをしました

もみへんこ担当

直方の清光寺幼稚園さんのご依頼で出張ワークショップに行ってきました。いつもは大体ハンカチを染めてもらうんですが、今回は「マスクを染めたい」とのご依頼でしたので、マスクの表地を絞り染めしてその後縫製してもらい、マスクにすることになりました。当日は快晴で気温も高く、コロナ感染予防対策のため屋外で行いました。外での作業はとても気持ちよかったです。

グループごとに大きな布をゴムやビー玉で絞っていくのですが、最初は一人ではできなかった子どももだんだんとできるようなったり、年長さんが年少さんに教えてあげたり1時間ほどでどんどん成長して行く子どもたちを見るのは感動しました。染めもみんな仲良くできました！

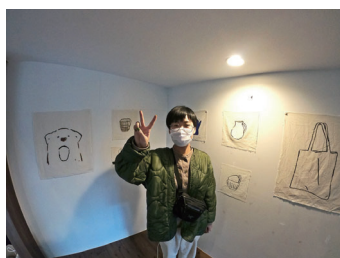


鎮西町区
村上夕子隊員

ナリワイづくり担当



下高野1区
小野沢春輝隊員



▲イラストレーター「そこにおる」さんと展示された作品

2月14〜21日の期間、採銅所駅舎内第二待合室を活用し、田川市在住のイラストレーター「そこにおる」さんの展示会を開催しました。「そこにおる」さんは地元田川にUターン後、イラストレーターとして活動を始め、現在は福岡市などを活動拠点とし、場所にとられない働き方を実践しているアーティストです。

都市部や地方といった、かつてあった隔たりが、ネット環境の充実により、無くなり始めた今日において田川でも新しい形で働き方をしていく人がいること、できることを、展示会という形で紹介しました。また、展示会の来場者の中には、採銅所駅舎が移住交流のスペースとなっていることを知らなかった人もいて、新しい人の流れが生まれたのではないかなと感じました。

半農半X担当



柿下区
小玉篤美隊員

Nature's power 香春のマコモダケ栽培

マコモダケをご存知でしょうか？ 全草が使えるイネ科の植物で空気や水を浄化し、お釈迦様はその葉を編んだ枕に病人を寝かせたと言われる近年注目され始めている植物で、実はあくのない竹の子のようで新鮮であれば生で食べることもできます。

今年から女友達3人で呉の休耕田をお借りして、マコモダケの栽培を始めることにしました。20年以上使われていなかった田んぼは、まずは水を引く整備から。産業振興課の職員から教わりつつ、友達と協力して水を引く整備を終えると達成感がありました。今後稲と同じ時期に植え付けをします。



▲無事に田んぼへ水を引き込む準備が整いました

半農半X担当



採銅所4区
三村信也隊員



▶傾斜地での作業は足腰の鍛錬に。終わりのころにはへっぺり。

1月から、採銅所「金明竹の里」の竹林整備に精を出しています。地域の方々の手により数年がかりで整備されてきた林内は、上空から日光が差し込みとても綺麗に保たれています。敷地はとも広く、今期は少し奥まった箇所と傾斜地で作業を続けています。

作業手順としては、まず足場の荒廃した竹を片づけていきます。次に足元が片付いたら小型チェーンソーで立ち枯れた竹、密植して状態の悪い竹から間伐をしていきます。そうして倒した竹を2メートル程度で切り、それらの切った竹を集めていきます。

日々、竹林内作業のいろはを先輩方から学ばせてもらっています。



フェイスブックでも私たちの活動や香春町の情報を発信中！
「いいね」や協力隊目線の情報を読んでみてください。
スマートフォンで左横のQRコードからチェック！

制作・編集 / 香春町役場まちづくり課
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408
採銅所駅舎内第二待合室 ☎ 32-3115



3月28日

15時～17時

香春町町民センター コンベンション室

会場参加募集人数

20人(申込先着順)

※新型コロナ感染対策のため、会場への参加については人数制限をさせていただきます。

申込方法

会場への参加を希望する人は、電話またはメールにて下記内容をお伝えください。

①氏名 ②電話番号

申し込み・問い合わせ先

香春町役場 まちづくり課 地方創生係

☎0947-32-8408

メール:kikaku@town.kawara.fukuoka.jp

※なお、報告会当日は採銅所駅舎内第二待合室は臨時休館とさせていただきます。



オンライン 配信を実施します!

今回の報告会はオンライン(Zoom)での配信も行います。当日に下記の二次元バーコードからアクセスください。

- 申込不要
- 定員 100人まで
- ミーティングID
910 1235 4589



香春町の移住情報サイト「カワラXカケル」
移住してきた人々の想いや町の皆さんの声などを掲載しています。
詳しくは左のQRコードや、「カワラカケル」で検索してください。

カワラ X カケル
香春町 X
KAWARAKAKERU